

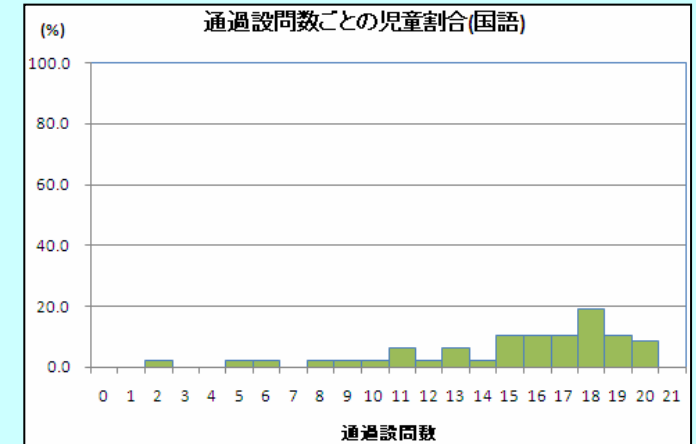
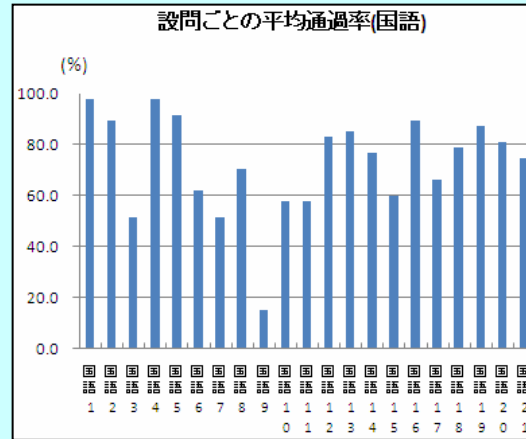
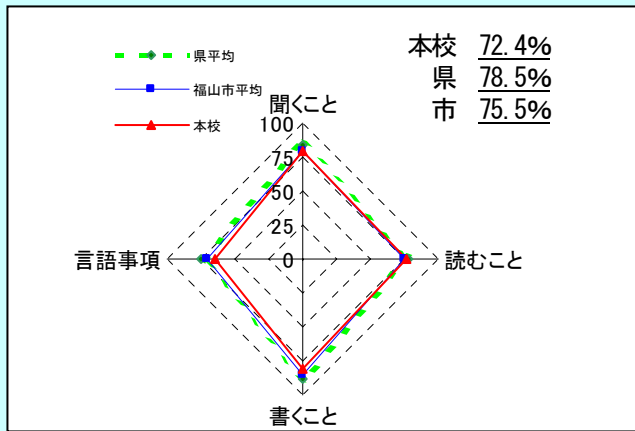
昨年度課題

- ◎話の要点を聞き取ることに課題がある。(通過率 41.9%)
- ◎主語・述語の関係を捉えることに課題がある。(通過率 18.6%)
- ◎簡単な単語について、ローマ字で書くことに課題がある。(通過率 39.5%)

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①聞き取るポイント(例 5W1Hなど)を明確にし、発達段階に即した指導を継続していく。
 - ②主語・述語と修飾語などの区別を明確にし、意見を述べる場面などと関連した指導を継続する。
 - ③様々な学習場面において、ローマ字独自の表記方法を確実に定着させる指導を継続する。
《本年度の目標値》
- 聞くことの領域の通過率を75%、読むことの領域の通過率を83%にする。
 - 言語事項(主語・述語、ローマ字)の通過率を78%にする。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎自分が聞いておかなければならないことは何かという観点で、話の要点を聞き取ることに課題がある。(51.1%)
- ◎登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことに課題がある。(59.6%)
- ◎主語・述語の関係をとらえることに課題がある。(14.9%)
- ◎ローマ字で表記されたものを読んだり、簡単な単語についてローマ字で書いたりすることに課題がある。(57.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

- ①物語の構造を分析させたり、人物の関係図を書かせたりする指導を通して、人物相互の関係や因果関係などをとらえさせる指導をする。
 - ②主語・述語・修飾語の働きを明確にし、「話す」活動、「書く」活動を通して指導する。
- ### 【全校・他教科等】
- 友達の見聞を聞く際に自分の意見と比べながら聞かせ、自分の言葉で言いかえて発言させる。
 - 様々な学習場面において、ローマ字を読んだりローマ字で書いたりする機会を設定する。
 - 家庭学習の質と量を一定に保ち、既習事項の確実な定着を行う。
 - 各教科の用語を正しく理解し、使えるよう指導をする。

取組みの検証

- 時期 9月初旬～2月初旬
- 方法 単元末・学期末テスト
- 目標値: 通過率70%

来年度の目標値

- 「聞くこと」「読むこと」領域の通過率を80%、言語事項の通過率を70%にする。

